

★県北地域の感染症発生状況(10/5～10/11 福島県感染症発生動向調査週報より)

※詳細は「福島県感染症発生動向調査」で検索してください。

定点把握疾患:咽頭結膜熱が小流行しています。

指定感染症:新型コロナウイルス感染症(48件)の発生が県内(管外)医療機関から報告されました。

## 一人ひとりができる薬剤耐性 (AMR) 対策

～毎年11月は薬剤耐性 (AMR) 対策推進月間～

1980年以降、従来の抗菌薬が効かない「薬剤耐性 (AMR)」を持つ細菌が世界中で増えてきています。特定の種類の抗菌薬が効きにくくなる、または効かなくなることを「薬剤耐性」といいます。

●薬剤耐性菌が増えると治療が難しくなるため、重症化や死亡の危険性が高くなります。

●特に免疫力の弱い乳幼児や妊婦、高齢者、持病がある人は、感染症にかかると重症化しやすいため、耐性菌が広まり使用できる抗菌薬が減ると命の危険性が高くなります。

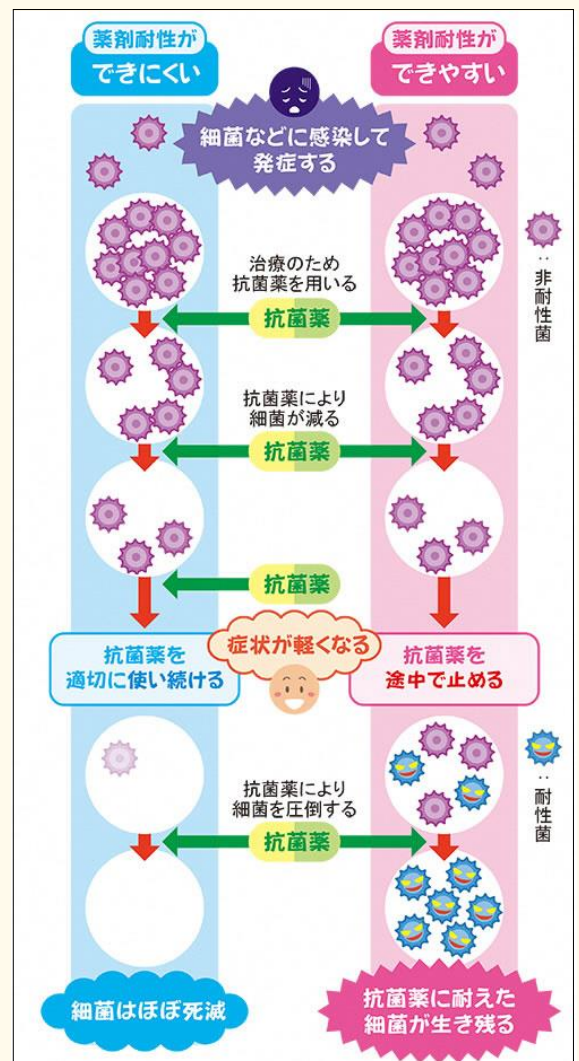
### 抗菌薬は、医師や薬剤師の指示を守って使いましょう

\* 自己判断で服薬量や回数を減らしてはいけません！

血液中の抗菌薬の濃度が低いので細菌が死滅せず、抗菌薬に徐々に慣れてしまい、耐性を獲得しやすい環境を整えてしまいます。

\* 自己判断で服薬を中止してはいけません！

症状が良くなったとしても体内に細菌が残っていることがあり、服薬を中断すると、きちんと治らずに感染症を繰り返してしまうおそれがあります。



抗菌薬は、不適切な使い方をするると新たな薬剤耐性菌が出現するリスクが高まります。

薬剤耐性の拡大を防ぐためにも、抗菌薬を服用する際は、医師や薬剤師の指示を守って、適切な量を適切な期間、服用しましょう！



# 県内で新型コロナウイルス感染者が急増しています！

感染リスクを高めやすい次のような場面では、マスク着用・咳エチケット等の感染防止対策を徹底し、感染対策がしっかりとしていない場面への外出は控えるようにしましょう。

## 1. 大人数や深夜に及ぶ飲食、飲酒を伴う懇親

飲酒に伴い大きな声になりやすく、マスクを着用しないで狭い空間に長時間滞在することから感染リスクが高まる。

## 2. 大人数やマスクなしでの会話

## 3. 仕事後や休憩時間

仕事後や休憩時間に密な状況が生じると感染リスクが高まる。

## 4. 集団生活

学校や寮など、大人数が閉鎖空間に長時間に一緒にいる場合には感染リスクが高まる。

## 5. 換気の悪い閉鎖空間における激しい呼吸を伴う運動

## 6. 屋外での活動の前後

屋外での活動自体は感染リスクが低いと考えられるが、その前後の車移動や食事などで三密が生じると感染リスクが高まる。

## 3つの咳エチケット 電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



マスクを着用する (口・鼻を覆う)    ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う    袖で口・鼻を覆う



何もせずに咳やくしゃみをする    咳やくしゃみを手でおさえる

## 正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を確実に覆う    2 ゴムひもを耳にかける    3 隙間がないよう鼻まで覆う

**Point**  
「手洗い」「咳エチケット」は感染症対策の基本です。



一人ひとりが感染症予防に取り組みましょう！

発行日: 令和2年10月20日

発行元: 福島県県北保健所医療薬事課

住所 〒960-8012 福島市御山町8-30

電話 024-534-4113

ホームページ: 検索キーワード

福島県県北保健所